

学校法人大阪滋慶学園 大阪ハイテクノロジー専門学校 自己点検自己評価・学校関係者評価

1. 令和5年度自己点検自己評価ならびに学校関係者評価(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

- (点数の基準について)
4. 適切に対応してる。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3. ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
 2. 対応が十分でなく、やや不適切課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
 1. 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

令和6年6月27日実施

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員からのご意見
1 教育理念・目的・人材育成	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	教育理念や育成人材像は、学生便覧、学校ホームページ、学校案内等に明示されている。これらの理念等は学校説明会やオリエンテーション、保護者会等を通じて学生や学生保護者など関係者に周知されている。社会の変化を速やかに教育に反映させるため、業界関係者等を構成員とする教育課程編成委員会を設置し、常に新しい情報を収集し教育カリキュラムや教育指導方法の改善を図っている。	本校は平成26年3月31日に文部科学省より9学科について「職業実践専門課程」の認定を受けている。学科の業界連携教育をわかりやすくまとめホームページ等で公開し理解を深められるように検討をしている。専門職高等教育保証機構の第三者評価の取得をもとに、客観的に社会の目から見ても評価いただける教育システムの構築を図っており修学支援制度の対象校にもなっている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで学校の理念を確認することはもちろん、入学式や保護者懇談会などでもその理念が語られており、周知されていると思います。 ・しっかり定められていると思います。 ・周知されているとあるが何をもって周知されていると考えられておられますか。 ・明確であり、社会や時代のニーズに対応できている。 ・HPで公開できており、様々な事が見やすく良い。
	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	学生便覧には学科の教育目標、育成人材像、取得目標資格等を記載し、オリエンテーションにて説明を行っている。カリキュラムの編成には、業界関係者の意見を反映している。講義担当は職能団体等に協力をいただき、講義・実習等で業界関係者が直接教授してもらえ環境を作り、業界の現状や求められる人材像を学生に伝えている。学外実習では業界の現場体験が可能である。	教育課程編成委員からの定期的な業界情報の収集と、職員の業界情報を統合して各学科の教育に反映させる準備を進める。グループ校と協同し課程ごとに実践的な内容の教材作成を進めている。また、デジタル巨財の作成も検討を行っている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・分野に関する資格を受験させていただけるのが、とてもありがたいです。また、学外実習でその業界の実際の職場体験を通して、職業としてより深く理解し、就職に結びついていくのではないかと思います。 ・業界関係者の意見も聞かれ、人材ニーズが適合するようにされていると思います。 ・業界のニーズに応じた実学教育が実践できている。職能団体との協力や、各病院との連携が密で良い。
	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	研究や海外研修などの特色ある教育活動により、卒業後の職業に直結した教育活動を行っている。	学科ごとの特色ある内容の教育を充実させていく。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・海外研修というなかなか貴重な体験が、この数年コロナや円安の影響で実施されていないことがとても残念です。しかし、実験クラブでは色々楽しく過ごせているようでとてもいいことだと思います。 ・研修などの特色ある教育活動をされていると思います。 ・大学との差別化、特色づくりが重要と思われます。(難しいですが…) ・専門性、実践力を養う教育となっている。 ・卒業研究を行うことで臨床のみではなく、研究分野に目を向ける事ができ良い。
	1-1 理念・目的・育成人材像 1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	中長期的な学校の将来構想は法人の5か年計画や事業計画に定めている。学内の会議や学園新聞やホームページでも告知している。	学校の将来構想については、具体的にわかりやすく学校関係者に周知できるよう努力を続ける。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に将来構想を計画周知に努められていると思います。 ・中長期計画に基づいて対応ができています。 ・様々な会議や非常勤職員も含めて周知できればなお良い。
2 学校運営	2-2 運営方針 2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	本校の運営方針は建学の理念を基に、教育理念や育成人材像をとともに策定されている。運営方針は毎年度作成される事業計画にも明示されているが、事業計画は、学校責任者を中心に教職員の代表が作成にあっており、作成後は年度末の会議で翌年の事業計画について情報共有し、毎月の全体会議等で目標数字についても確認しPDCAサイクルを回している。	運営方針は年度計画として毎年度検討され適宜修正も行い定められている。運営方針が記載されている事業計画書の書式は法人内で統一されており、姉妹校間での比較検討や過去の取り組みと比較することが容易であるため、学校運営に都度反映を行っている。	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画が学校責任者だけでなく、教職員の方々も作成に関わっており、且つ毎年度検討されているのがすばらしいと思います。 ・教育理念や育成人材像もとに毎年の事業計画にも明示されていて沿ったものと思います。 ・職業実践専門課程としての役割、使命を充分担っている。 ・姉妹校との比較検討が都度反映されていると感じる。
	2-3 事業計画 2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	学校法人大阪滋慶学園では中期計画として5か年計画を策定しており、その計画に基づき事業計画を策定している。5か年計画、年度毎の事業計画ともに、学校教職員に対して会議等を通し都度共有を図っている。事業計画には年度目標(定量・定性目標)、予算、運営体制、職務分掌なども明記され、定期的に事業計画の進捗確認を行いながら、運営を行っている。	定期的な中長期計画の見直しも行われ、計画的に学科設立や新規分野への展開なども行われ、学校の発展に寄与している。事業計画では5か年分の学生数を予測し、収支予算の計画も作成されている。	3.0	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・5か年毎の中期計画にもとづき単位年度の事業計画が策定されており、改善方策も検討されているとのことで今後の改善に期待します。 ・5か年分の学生数は、ある程度正確に予測できるものなのでしょうか。少子化を含め、社会の変化にどの様に対応していくか検討が必要。 ・全職員で事業計画や5か年計画の共有はもう少し必要などところもあると思います。
	2-4 運営組織 2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか 2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	法人の理事会、評議員会は規程に則り適正な運営がなされている。学校内の組織として教務部と事務部、広報部があり、職務分掌を定め業務を行うとともに、会議等で情報を共有し、教職員全体のチームで学校運営を行っている。また、協働できるように、委員会組織を設立し主体的に提案できる人材育成を心掛けている。	学園全体として、FD,SD等の研修が経験年数やキャリアを加味して体系的に行われている。教員対象、事務職員対象、学科長対象、管理職層対象などの階層別研修や、教職員全体研修など目的に応じた種々の研修が実施され、各スタッフのスキルアップをおこなっている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の学科がある中で、それぞれの特色がありながらも、一つの学校というチーム感がとても感じられ、組織運営が適切に行われていることがわかりました。 ・学校運営は適切で、組織も整備されていると思います。 ・学科長のガバナンス、教職協働で展開されている。 ・階層研修や全体研修の内容も知りたいです。
	2-5 人事・給与と制度 2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	法人での就業規則が整備され、育児や介護などの休業に関する規定をはじめ、教職員を支援する枠組みがある。人事関係については法人本部が統括しているため、問題なく運営されており、人材募集についても法人のホームページを中心としてオープンな採用を行っている。	教職員の人事考課は法人全体で共通の内容となり、教職員各々が自己目標に対する自己評価を行い、それに基づき上長が面談を行い、人事考課を行っている。人事考課は、面談を通して年間の振り返りと成長の機会ともしている。就業規則については、毎年度見直しを行い共有部分に設置し閲覧可能にしている。パパ育児や時間休制度など社会情勢やニーズに応じて、教職員が働きやすいように就業規則が見直され改定されている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則が整備されていて、育児休暇などの支援もなされており問題ないと思います。 ・目標設定と自己評価・人事考課がしっかりと整備されている。 ・パパ育児の取得状況はどの様になっていますでしょうか。取得しやすさも重要と考えます。男性の育児は今後の学園課題でもあるので積極的にとれる体制の構築をお願いします。
	2-6 意思決定システム 2-6-1 意思決定システムを整備しているか	学校内の意思決定システムは整備されており、書類の流れや権限についても学内の会議や研修を通して教職員に周知されている。これらは会議規定等に定められ、年間の事業計画の中にも明示されている。	CybozuGaroonの導入など業務のデジタル化とオンライン化が進んでおり、意思決定したことが一部オンライン上でも共有できるようになり、速やかに情報共有ができるようになっている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や研修を通して意思決定システムは周知されており、オンライン上で意思決定の確認ができたりと、整備されていると思います。 ・紙ベースからデジタル化、オンライン化に対応できている。 ・非常にデジタル化が進んでおり良い。
	2-7 情報システム 2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	学生の入学前から卒業後までのデータは、学校の基幹システムによって管理されており、システムはセキュリティ面でも優れている。メンテナンスは提携している企業が一括管理しており、今後はデータの一元化が進み一層の効率化が図られる。	教職員は年度ごとにITリテラシーテストするとともに、定期的に個人情報に関する研修を受講し、個人情報取扱従事者資格の認定を受けており、情報管理に関して一定水準を維持している。またDXリテラシーについても取り入れられ追加で実施している。	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策のされた基幹システムによりで一だ管理されていて、業務の効率化を図られていると思います。 ・CSIRTはすばらしい取り組みだと感じました。 ・教職員の研修は徹底されており、情報管理についてもすばらしい。

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員からのご意見
3 教育活動	3-8 目標の設定 3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか 3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	建学の理念である「実学教育」「人間教育」「国際教育」を基に、学校及び各学科で教育目標(3P・養成目的・ミッション等)を策定し明示している。また、各学年での知識・技術・資格等の取得レベルと修得プロセスと評価方法を明文化している。	資格に対して委員会組織を構成し、体制整備や情報交換を行ない目標設定及びその達成に向け対策を講じている。 プレカレッジ・プレスクールや高専連携授業等の学びながら入学するシステム構築を目指し、入学前教育についても積極的に実施している。	3.5	3.9	<ul style="list-style-type: none"> 息子の話を聞くかぎり、しっかり目標を持って学んでいると思いました。 生物基礎や数学Ⅰ等の高校課程の問題集等しっかり示していただければありがたいです。 建学の理念・社会の変化とニーズに対応できている。 プレスクールの導入まで評価できる事が多い。 卒業後国試落ちの学生の面倒を見ているのも良い。
	3-9 教育方法・評価等 3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか 3-9-3 キャリア教育を実施しているか 3-9-4 授業評価を実施しているか	教育課程の編成においては、関係各局や関連法規、業界・教育課程編成委員・学校関係者の評価、年2回のカリキュラムアンケート、定期・不定期の学生面談、実習先や就職先・学会等の情報等、学校内外の様々な情報や評価をもとに時宜に応じて必要な編成・改善を行なうことができている。	カリキュラムアンケートや講師会議、学校関係者評価・教育課程編成委員は学校の取り組みとして、年間行事の一環として行われている。また、キャリアセンター職員を中心に、情報収集も兼ねた関連施設や企業の訪問も定期的に行われている。	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> AIやバイオの学科もありますが、今は医療系に特化してきているように感じ、私が学生だった頃と比べると少しさびしさを感じます。 せっかく“ハイテクノロジー”という名前なので、いろんな方向に向けた先進な勉強ができればいいと思います。 学びの可視化、実習での成長の可視化、ポートフォリオ、さらなるシステム向上を期待したい。 学生面談を積極的に行っており良い。
	3-10 成績評価・単位認定等 3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか 3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	成績評価については学則に明記されており、学則も入学時に全員に配布されている。また、年度初めのオリエンテーション等で都度、説明が行われており、共有されている。	成績の判定や履修の認定については、必ず学校責任者同席のもと判定会議が開催され、客観的評価が行われている。 毎年度、大阪市中央公会堂にて在校生が研究発表する機会を設けており、学生の創作意欲や探求心の向上を支援している。	3.5	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 成績表が親でも見やすいので、良いなと思います。 成績などの客観的評価を学生自身が考える自己評価を把握していく必要がある。 卒業と国家試験合格がむすびついていないので、卒業＝国試合格となるようお願いします。
	3-11 資格・免許取得の指導体制 3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか 3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	資格試験受験対象の学生には、模擬試験にて定点観測し分析している。過去問題は学園内で運用しているJwebに登録されており、学生が自由に閲覧することが可能となっている。 グループの国家試験センター主催の研修も毎年度開催されており、研修で得た内容を活用し学生指導に当たっている。	学園オリジナルで開発されたJwebは、教員が資格取得を目標にする学生指導を行うためのツールにもなっており、自習課題などの作成も容易にできるツールであり、Microsoft Teamsと併せて使用している。また、学園内で資格取得に関する情報や学習方法に関する情報を共有する機会も定期的に設けられている。	3.5	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの学科(バイオ)は国家資格ではないが、関連する様々な資格試験を受験指導してくれている。 Jwebの活用などで学生が取り組みやすくなっており、国家試験センター主催の研修もあり、指導体制がなされていると思います。 学力不足の学生に対するサポートがさらに必要となる。 Jwebの運用で、学生がどのような資格がとれているか知りたい。
	3-12 教員・教員組織 3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか 3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか 3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員体制は学科ごとのコンプライアンスが徹底されている。また、学園内でFD研修も開催されており、教育技法を中心として知識と技能については、一定水準が保たれるような取り組みが行われている。 教育連携は学科ミーティング等で共有され、学生指導や資格指導等に成果を出せるよう運営されている。	学園内で行われているFD研修は全教職員を対象として、入職年ごとに必要スキルが設定され開催されている。 教職員の研究活動については、JESC(滋慶教育科学研究所)の支援もあり、年度毎に成果を共有する機会も学園内で設けられている。	3.7	3.8	<ul style="list-style-type: none"> 学科のコンプライアンスの徹底やFD研修の開催などで資質向上への取り組みがされていて、組織体制の整備もなされていると思います。何か国家資格などをお持ちの先生がいらしたら、具体的にあげていただくとうわりやすいです。 ロボット、AI、IoT系の技術進화가非常に速いので外部企業の連携で適切な教員確保が望まれる。 初年次教育の充実、ST比を整えるなど、退学者を編減させる必要がある。 常勤・非常勤ともにコンプライアンスは徹底されていると感じる。
4 教育成果	4-13 就職率 4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職実績のある事業所との良好な関係を維持しつつ、常に業界のマーケティング調査を行い、新規の就職先も同時進行で開拓する事が大切。業界と学生のマッチング率を上げていくことで今後も就職率向上はもちろん、業界との信頼関係を構築していく事が重要。	最終学年で指導を行うのではなく入学学年から学生のニーズならびに就職に対する考え方を整理できるように指導を行い、業界動向に合わせた就職先の提供を行う。また、世の中の必要性をキャッチし学科へフィードバックを行い、世の中のニーズ・企業のニーズに合った学生を育成しWinWinの関係性を維持する。	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の時から就職を意識した指導、企業の説明訪問など常に就職することを意識づけしてくれて、万全のバックアップ体制がとれていると思う。 入学学年から就職のことを念頭に指導されていて、業界と学生のマッチング率向上が衆力率向上につながっていると思います。 DX人材の不足は深刻なので、業界との連携でインターンシップ強化など必要と思われる。 専門性を活かした就職率は非常に評価できる。 離職率の話がありましたが、待遇は就職前にも分かるはずですので、学生指導でフォロー出来る事もあると思います。 各業界とのつながりも多く、就職率は良いと思います。
	4-14 資格・免許の取得率 4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	年間を通してそれぞれの資格対策において、教職員はもとより、学生も個々の資格取得、全員合格に向けた努力や意欲が見られるが、理解度2極化の拡大傾向は続いている。初年次教育を含めた基礎分野の定着に時間を要している。国家試験合格や資格取得に関する目標を達成する工夫と併せて、卒業後の即戦力を目標にして、対策に更なる講師の意識向上とスキルアップも含めた対応を検討している。	学科や課程の違いによる学生の生活や学力に変化が著しく、授業以外にも放課後や土曜日・日曜日に補習や補講などの特別講義を実施するのと併せて、学年ごとの学力の到達状況や理解力を把握できるように、確認テストを定期的実施している。また、学びながら入学するシステムも設定し、入学前からの計画的な指導を目標としている。	3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 入学前教育を是非、充実させて下さい。(役に立つと思う勉強ならば、努力を厭わないのが、今の生徒だと思われます。) 私は食品業界ですが、とりまく社会環境は目まぐるしく変化しています。HACCPが必須になったり、ISO9001とさわがれていたのが、今はISO22000、またはその上のFSSCIに進んでいます。たとえ作業員として働いても、これらの理解がなければすごく負担になるし、企業としても理解できない(ルールを守らない)人はやめてもらうしかないの、学生のうちに勉強してほしい。 更なる取り組みをお願いします。国試合格率を高めるためにも個々へのサポート、特に学力の低い学生への支援の充実を期待したい。 資格取得は学校にとって大切かと思いますが、その先を見ずえた教育をお願いしたいです。 教職員の思いと学生の考えに乖離があるように感じる。1年次の時から就職について考えさせる必要があるかも。
	4-15 卒業生の社会的評価 4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	定期的な就業状況調査に加え、求人票入手時や学外実習先依頼時、訪問時やアンケートを通して、卒業生の在職状況、役職など就業状態の把握に努めている。また、同窓会活動を通して学校イベントや卒業勉強会に卒業生を招きヒアリングも行っている。 卒業した学科の教員を中心に、入職1年後の離職状況と3年後の離職調査は毎年度実施されている。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響があり、遠隔で同窓会を開催し、参加者からも好評であったため、今後も同窓会や卒業教育の実施手法として継続する。就業先や関係団体で高い評価を受け、組織の役職や役割を担っている卒業生も多くなっているため、卒業生には業界特別授業や講師、学校イベント(広報、就職)への協力など様々な形で学校運営に関わっていただいており、多数の卒業生が専任教員として学校教育に携わっている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 卒業・就職させることだけに焦点を置くだけでなく、その後の離職率1年と3年と調べて、その上更にその理由まで調べて、分析し、今後の学生たちの就職する上での参考になっていると思う。 卒業後の離職調査も毎年度行われており、在職状況や役職など就業状態の把握から社会的評価を把握されていると思います。 入職後1年後の離職率状況は、貴校のインターンシップや企業研究の指導の問題はないのでしょうか。 卒業生実態調査などを行っているのでしょうか。 卒業生のネットワーク、学び続ける支援の充実を期待したい。 卒業生のアンケートすばらしいです。

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員からのご意見
5 学生 支援	5-16 就職等進路 5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職支援のため各学科担当キャリアセンタースタッフの配置をしている。また学科担当キャリアセンタースタッフと教務と週1回ミーティングを実施し就職内定率の向上を図っている。情報共有のため、PUBに学生の就職内定状況を管理すると共に、内定速報を掲示板に掲示している。更に法人会員制度の実施により、業界との連携を強化している。毎年春に就職フェア開催し、前年度11月から3月にかけて学科別面接練習会開催して指導している。	学科別にキャリアセンタースタッフを担当制として一人ひとりに細かくケアを行っている。5月には学園全体で約300施設の人事担当者等に出席していただき、就職フェアを開催し(今年度はグランキューブ大阪にて開催)、就職支援を行っている。この就職フェアは病院や施設との懸け橋のみならず、学生が就職活動の重要性や実際に活動することの大切さを認識するきっかけ作りにもなっている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に際し、本当に学生一人一人に対して細かいケアをしていただいているからこそその就職率100%を達成しているんだらうと、数字からも先生方、キャリアセンタースタッフの方々のご尽力が伺えます。 ・学科別にキャリアセンタースタッフが担当制になっていて、細かいケアもされており、支援組織体制は整備されていると思います。 ・担当制の導入は信頼できるので良い制度だと思います。支援システムが充実している。 ・専門性、実践力、そして就活、両立できる支援のさらなる充実を期待したい。 ・広くは就職フェア等が有効だとは考えますが、実際に見学に行く事が就職にはつながると思います。 ・学校の誘導が重要と考えます。就職率に結びついている為、継続をお願いします。
	5-17 中途退学への対応 5-17-1 退学率の低減が図られているか	教務システムにより、出席状況の逐次把握や、面談記録や奨学金等の学生情報の共有が簡単にできている。	本校では、退学率を4%以下と目標としている。スクールカウンセラーが常駐するチュードントサービスセンター(SSC)がある。教務システムの導入により、学生情報の把握・共有ができている。	4.0	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・今回退学率4.8%ではあったが、どんなに学校側が尽くしても、一定数退学することは避けられない。その退学に際しても、スクールカウンセラーを常駐させ、相談できる環境を作ったり、退学理由を把握し、分析しているところがすごいと思う。 ・退学率4%以下の目標で、実際は何%かわかると評価がしやすいです。 ・人間関係から来るトラブルの解決の方法としては望ましいですね。 ・退学者の調査が進んでおりますばらしいと思います。継続して調査し、対策を強化して行って下さい。 ・更なる退学者数の低減への取り組みを行うべきである。 ・入学後、学習についていけない学生への対応、支援を期待したい。 ・10%以下の退学率はすばらしいです。
	5-18 学生相談 5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか 5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	本校は担任制をとり、学生の日常の様子や出席状況等を十分に把握し、指導している。定期的に学生面談を実施し、特に長期休暇の後の出席状況を注視し、状況や内容によっては、事務職員が相談窓口となりサポートすることもある。学校全体で学生の状況を把握し、連携・協力することで学生支援を行うようサポート体制を常時整えている。また、学生の身体面・精神面をケアするための学生相談所・クリニックを設置し、学生が心身ともに健康で、充実した学生生活を送ることができるよう教職員とカウンセラー・医療スタッフが連携・協力して学生支援を行っている。	本校の教職員は全員、研修にてカウンセリングスキルを習得している。担任を中心に学生が抱く種々の悩みに傾聴し、寄り添うことで全ての教職員が相談しやすい雰囲気や日常から作ることに努めている。また、高度な知識と専門技術を持ったカウンセラーが常駐する滋慶トータルサポートセンターを学生なら誰でも利用することができる。教育面及び心理的な立場から包括的に支援できるよう学生の背景に相応した体制整備の強化を更に進めている。	3.5	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・担任制のおかげで、先生方が子どもをより親密に状況を把握したり、サポートしてくださっているように思う。 ・担任制により学生の状況把握につとめておられ、教職員全員がカウンセリングスキルを習得されていてカウンセラーの利用もでき、相談に関する体制は整備されていると思います。 ・留学生は言葉や文化の違いがありますが、何か別のケアもされていたら、記載があるのとわかりやすいです。 ・先生と学生の距離が近いというのは魅力です。学生支援体制が整っている。 ・1年次の退学者が多いとのこと、実際に公表いただいた対策を実際に進める事が大切だと思います。 ・常に職員の先生方が生徒と面談している姿を目にします。 ・安心して子供を預けることができると感じられた。
	5-19 学生生活 5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか 5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか 5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか 5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	独自の奨学金・特待生制度を設け、国の修学支援制度、教育訓練給付金、アルバイト紹介、学費分納制度の設定など学生の総合的な経済的支援体制を行っている。健康管理については学校医である「慶生会クリニック大阪」と連携して取り組んでいる。要再検査対象者にも、担任より個別に受診指導を行っている。また、遠隔地から就学する学生のための学生寮も完備している。	設置学科が、昼間部・夜間部・専攻科・日本語学科と多様であるため、経済的支援や健康管理についても各人の状況に応じて対応している。また、社会状況(コロナ禍・気候変動・IT化等)をふまえ、災害時等に備えた緊急通報・安否確認アプリ制度を導入し、社会の変化に応じた学生支援を推進している。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学科や、昼・夜・専攻・日本語学科と多様な生徒を受け入れ、それぞれのサポート体制を整備されているのはすばらしいと思う。 ・経済面、健康管理などの支援体制や遠隔地からの学生にも学生寮の完備など、学校生活に支援体制は整備されていると思います。 ・奨学金の返済率もすばらしく、ほぼ全ての学生が返している聞いて驚きました。
	5-20 保護者との連携 5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	保護者の方々へ学校の取り組みに理解ならびに学生サポートの協力をいただけるよう入学前・在学中の保護者会、個別懇談会等を実施している。コロナ禍を機に、Web面談等導入のうえ、参加しやすい環境を整えている。また、前期後期ごとに成績・学園新聞等の送付をし、本校の教育理念、活動を理解して頂く機会を設けている。また、就職・国家試験準備保護者会を実施し、学生の状況に応じたサポート体制をとっている。基本である学習・生活習慣が重要となる為、担任・学科長・教務部長・学校責任者・事務局・キャリアセンターが連携して保護者と学生への個別対応等の支援体制をとっているが、複雑化する問題に対してより一層の連携の強化が必要だと考える。	本校では基本理念である3つの建学理念(実学・人間・国際教育)と4つの信頼(学生・保護者、業界、地域、高等学校)を基礎として、時代に即した技術力・人間力・国際力を身につける職業人教育を実践している。また、入学前教育・キャリア設計(在学中)・キャリア開発(卒業後)と段階を得て、ステップアップ支援体制を万全にしき、さらなる個々の状況に応じた教育支援体制をとるよう4つの信頼を深め、各業界や保護者とのより強い連携に努めている。個別対応として、独居学生の帰省前の保護者との情報共有や登校率の悪い学生や学力低下が激しく改善が必要な学生の保護者の方には連絡を入れ、自宅での学習・生活態度の支援協力等の連携をはかっている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前には、保護者も一緒にオープンキャンパスに参加、見学し、直接先生とお話する機会もあり、学校を選ぶ上でとても参考になった。 ・入学後においても9月に個人懇談で先生と子どもの学校での状況を伺えてとても安心できるし、良いと思う。 ・保護者会、個人懇談会等でサポート協力の理解を得られるよう、連携体制を構築されていると思います。 ・保護者との電話面談もよくしている姿をみます。 ・支援体制がすばらしい。
5-21 卒業生・社会人 5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか 5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか 5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	本校の卒業生は全て卒業時に「ハイク校校友会会則」に明記された同窓会会員となり、卒業教育勉強会や学園新聞を通じて、会員の相互親睦やキャリアアップを図る機会を提供している。また、学校法人 大阪滋慶学園 滋慶医療経営管理研究センター主催の医療・福祉マネジメントセミナーやグループ校や滋慶医療科学大学への3年次・4年次編入、滋慶医療科学大学院大学への進学、海外提携校日本校・姉妹校への入学など、卒業後の再教育プログラムを提供することで更なるキャリア形成を図ることに寄与している。今後、増加が見込まれる社会人経験のある入学生や一部の国家資格試験不合格の卒業生についても、既修得単位認定や的確な教育カリキュラム・教育環境を提供することで更なる支援体制を確立したい。	本校の卒業教育勉強会や同窓会では、学科が独自に時代背景に即したテーマを設定した勉強会を実施しているため、卒業生のキャリアアップに向けて有意義な場を提供することができている。キャリアセンターや図書室は必要に応じて卒業生にも開放しており、転職等の個別相談をはじめ、卒業後のキャリアアップに有効な場として用いられている。また、国家資格系学科(臨床工学技士科・柔道整復師学科・鍼灸スポーツ学科・診療放射線技師学科)では、所定単位を履修した卒業生に対して、国家試験不合格となった場合でも卒業後も継続的に教育支援を行い、必要に応じて講義、勉強会の聴講や模擬試験受験、及び個別指導を実施している。特に、柔道整復師学科・柔道整復スポーツ学科においては、JESC国家資格対策センター主催のリ・スタートセンターに登録することで、滋慶学園8校と連携したICTを活用した定期的な模擬試験の受験や通学制国家試験対策講座の受講が可能となる。	3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・国家資格系学科の学生で所定単位を履修した卒業生で、国試が不合格であった学生に対してのフォローはとてもありがたいです。 ・離職率の調査を行っていることは評価できます。 ・現状、新入社員として入ってきて1年ほどで辞める若い人が多いのですが、だいたい対人間関係であり、本人に問題があることが大半です。 ・アスペルガーやADHDの若い人が多く感じます。ハイクでの生徒さんの現状はどうでしょうか？ ・学び続けることができる体制の充実を期待したい。 ・専門職大学院との連携を期待したい。 ・他大学や別の進路も案内しながら、学生の未来について話す事ができたらなお良いと思います。 	

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員からのご意見
6 教育環境	6-22 施設・設備等 6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設設備で修理や故障が発生した際に、写真で撮影し学園の修理申請システムにアップする事により、関連企業が即座に対応するシステムが、この1・2年で構築できた。さらに、各校舎で環境安全衛生委員を任命し、毎月、第一金曜日に環境安全衛生委員会を実施し施設の故障や改修状況について情報共有し、改修漏れを防いでいる。あわせて、関連企業にサポートをお願いし施設設備の管理を定期的に行っている。法令順守を意識し短中長期の計画を策定し施設管理を行っている。	全教室にWi-fiが対応できるようにしている。授業終了後の小テストをスマホで回答できるように設備を整えている。感染症が発生した際を想定し、オンライン授業と対面の授業の両面に備えて対応できる環境を整えている。昨年、第3校舎の蛍光灯を撤廃し、LEDを設置。また、本館の赤の広場の椅子を全て改修し、新しく設置しなおした。	3.0	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽に知識を確認できていいですね。 ・VR教育の導入を検討するのはいかがでしょうか。 ・限られた設備をうまく学びにつなげることができている。 ・大学に対抗するには、施設・設備の充実も重要であるとも考えます。 ・ネット回線が非常に遅く感じます。 ・緊急での資料のアップロードに困る事が、ぜひ改善していただきたいです。
	6-23 学外実習、インターンシップ等 6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習、海外研修では、教育指導要領だけでなく各学科に実施要綱やマニュアルがありそれを基に準備、実施、振り返りが行われている。学外実習は、業界の実際を知り、社会人となる自覚や責任、協調性の大切さに気付く貴重な場であり、十分な事前準備や事前学習が重要となる。海外研修は、アメリカ、中国の提携校と連携し、各学科にあったプログラムを実施し、グローバルな視野と感性を養う貴重な機会となっている。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことに伴い、従来の形式に戻すもの、新しい形式でのプログラム実施に変更するものとを整理し、より高い教育効果が得られるプログラム内容や体制で取り組むことができるよう検討をしている。	学外実習では、医療系国家資格取得の資格要件を満たすための臨床実習、卒業研究の一環としての学外実習、インターンシップ実習、出身高校への母校実習など、各学科の特性を活かした実習を行っている。就職を見据え、学生の希望を反映した実習先を確保することで、実習先が就職先に繋がることもみられる。臨床工学技士科、診療放射線技師学科では、実習前に校章授与式を実施し臨床実習へ取り組む心構えを確認している。海外研修では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も現地での研修は再開できていないが、海外提携校とのオンライン講義や学生交流、ネイティブ講師による外国語講義を行い、日本国内でも教育効果が得られる内容となるよう工夫している。	3.0	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年海外研修が実施できないことが非常に残念ではあるが、学外実習が通常通り行われて良かったと思う。 ・先生がそれぞれ学生にあった実習先を考えてくださることも、とてもありがたいと思う。 ・英語の勉強を頑張らせます。 ・海外研修は金銭的負担が大きくなるため、Webの活用も検討するのはいかがでしょうか。 ・DX分野の技術は広範なので学外やインターンシップの取組は重要。 ・専門性・実践力を高めるための実習、インターンシップが充実している。 ・学外実習に出る前の教育が重要と考えます。 ・レベルのバラツキも感じますので、学力と共に資格の内容についてももしっかりと理解させておく必要があると思います。 ・臨床実習の点ではすばらしいです。 ・学校での模擬実習や生活態度のすばらしさが分かります。
	6-24 防災・安全管理 6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか 6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	ここ数年、環境安全衛生委員会や、内部監査等で、定期的にチェックを行うことにより、課題は大きく改善できている。その上で本校には薬品等の危険物もある為、管理に関しては固定設置や量の確認も含めて管理を行っている。災害時に備えての施設・設備などの安全管理(固定設置等)を行うと共に防災訓練(消防避難訓練)を全学生、教職員に対し実施要領どおり、消防署の指導の基、実施している。	毎月の環境安全衛生委員会で確認をすると共に組織図を毎年4月に更新し情報の共有を行っている。昨年、防災マニュアルを全教室内に設置に切り替え改善した。避難訓練に関しては、就職してからの学生の事も考え実施している。学生にもしっかりと動機づけをすることができている。	4.0	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なチェックや避難訓練など組織体制、安全管理体制は整備されていると思います。 ・避難訓練はされているとのことですが、自分たちでどう行動するかを日ごろから考えることが、一番大事な自助に繋がると思います、AEDの使い方や、担架の使い方などなど、災害・事故での初期対応の仕方が今後重要だと思いますので、学生時代に体験していれば強みになると思います。 ・初動対応についても訓練されていますか。例えば消火方法など。また、薬品付着での薬傷に対するの対処方法など薬品の漏洩に対するの対処方法についてもされていますか。 ・組織として対応できている。 ・防災マニュアル、安否確認システムの充実を期待したい。 ・避難訓練もあり安心です。
7 学生の募集と受入	7-25 学生募集活動 7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか 7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	ターゲット別広報として高等学校等へクラブ活動や高校教員を対象としてセミナーを実施している。また、学校案内の他に高校教員や保護者を対象とした資料等も作成している。学校案内は、真実性・明瞭性に基づいて作成している。法人内に広告倫理委員会や個人情報保護委員会を設置し、チェック体制を整えている。	高校2年生時の校内ガイダンスの参加を強化し、学校見学者数の増加を図っている。また、高校へのクラブ活動サポートや専門授業の提供など、さらに高専連携の強化に取り組む。SNSを使った情報提供を継続的に行い、気軽に情報収集できる仕組み作りを取り組み、円滑に学生募集を進めることができた。次年度は、ホームページコンテンツの充実を行い検討ができるようなコンテンツを作成していく。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスをとて頻繁に実施されており、参加しやすいと思う。またホームページも見やすく作成されているため、学校を選ぶ際とても参考になった。 ・通常の募集活動のほか、興味のある分野、学科にあわせた情報を学校案内以外にも作成されている。また、来校型とWEB型のオープンキャンパスがあり、効果的にしていると思います。 ・定員を満たすことが難しくなってきたと思われる。専門職の魅力を伝えるのを主体に活動を強化して下さい。 ・ロボット、AIという名称から就職イメージが結びにくい側面があると思われる。 ・高校生の段階からカリキュラム内容と職業感を示せるとよいか。 ・定員数の確保に向けた対応、そのための改革を期待したい。 ・専門学校なので、高校生に対し、職業・資格について広く知ってもらう活動も重要と考えます。 ・HPやSNSが一番気軽にアクセスできると思うので充実させて下さい。
	7-26 入学選考 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	募集要項には3つのポリシーを明記し、入試選考は、募集要項で明記した基準に基づいて行っている。あわせて、学生情報を入試判定会議で一人一人確認を行いながら実施している。入学前からの情報を教務・事務・キャリアセンターと共有し、学生指導及び就職指導にも活かしている。入学選考は年度毎に計画・予算を決定し、運営している。	進路の早期化傾向にあり、入試選考では適性AO入試、適性クラブAO入試での選考が中心になっている。また、大学生や社会人の学び直しを検討している方も業界推薦入試・卒業生推薦入試等の業界や卒業生と連携した推薦入試制度を設けている。さらにインターネットから出願やエントリーができる「ネット出願」「WEBエントリー」も導入している。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・入試選考において、様々な方法、しかも1回きりではなく定期的に実施されており、入学の間口が広がられているのはとてもいいことだと思う。 ・入学選考は募集要項で明示したとおりに、適正に行われていると思います。 ・入学後のミスマッチ、学力、学習についていけないなどの対応を入試の段階で改善できるシステムを期待したい。 ・様々なエントリー方法があり非常に良いです。
	7-27 学納金 7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか 7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	今年度より、高校3年にあがる前に、奨学金や修学支援制度を踏まえた学費説明会を来校型とオンライン型で新しく実施した。丁寧に学費相談を行い社会の動きに合わせた情報を提供している。毎年、学納金については見直しを行っている。入学前のオープンキャンパスの段階で奨学金や教育ローン、修学支援新制度の情報を提供するなど学費相談も個別に対応している。学納金の明細・内訳も提示し、追加徴収は行っていない。また、入学辞退者に対しての授業料の返還については募集要項に記載し、適切に対応している。	学費に関しては一括納入以外に2分割・3分割の納入方法を提案している。あわせて、教育ローンが組めない学生には個別対応も実施している。修学支援制度の対象者には学費の納入時期や金額を調整の上、実施している。また、AS400システムで学納金データを管理しており、銀行等からの入金情報が随時把握できるようになっている。また、経理・広報・教務が連携して学費未納者の情報を共有し、必要に応じて個別で本人や保護者に対応している。学費の入金ずれに迅速に対応することにより入学辞退や学費未納の防止につながっている。	4.0	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・学費納入率99%は、様々なサポートや個別対応されているとはいえ、とてもすごいことだと思う。 ・学納金は毎年見直しが行われ、入学辞退者に対しても適切に行われていると思います。 ・適正な対応ができている。 ・修学支援制度は大変有効と考えますが、物価の上昇など世の中の動きと合わせたサポートが重要。 ・学費の分割は、夜間学生で自費で行く人の為にも継続して欲しいです。

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員からのご意見
8 財務	8-28 財務基盤 8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	事業計画の運用状況を四半期ごとに確認し対応している。資金を増加させて安定な学校運営をしていくためには、過去の分析とともに将来の分析も必要となる。そのため事業計画作成時に過去と将来の資料を分析して学生数の増加による収入の増加及び、経費の見直しを図って資金を増やしていくことが必要となる。適切に分析と把握が行なわれていると考える。	前年と比べ支出は現状維持をしており、その上で放射線技術師学科を中心に在校生数の確保に成功しており、収入が増えている為、収支差益も改善し安定した経営基盤を築くことができている。今後も支出をおさえることを意識し財務基盤の安定を推し進めている。	4.0	4.0	・支出を抑え、在校生数の確保ができており、安定していると思います。また過去と将来の資料などから資金を増やすことを図り、分析、把握がなされていると思います。 ・中長期計画、PDCAでの運営など適正な対応ができています。 ・定員割れの学科も様々な工夫をしているようで継続して下さい。
	8-29 予算・収支計画 8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか 8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	年度予算、中期計画は事業計画の中に組み込み、毎年11月に作成し、更に2月後半に学生募集並びに予算執行率を基に修正作成し、承認を得ている。また、年度の始めに再度、実際の学生数をベースに修正を行っている。その上で中期計画を見据えて年度予算を立てているので、誤った方向へ進まないようにしている。	予算の執行状況は、事務局次長が確認を行い、更に理事長、常務理事が再チェックを行い、事業計画の中に組み込まれているか目を通し、改善を図っている。予算執行に関しては、絶えず予算書の提出と進捗率を踏まえて提出し、予算超過しないよう工夫している。	4.0	4.0	・単年度、中期計画は事業計画に組み込まれていて修正され、予算書の提出進捗率などから予算超過しないよう工夫され、執行管理は適正だと思います。 ・チェック体制が整っており安心できます。
	8-30 監査 8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	財務体制の強化を図るために監事の監査に加えて公認会計士監査も積極的に受けている。監事の監査は業務監査と会計監査、公認会計士監査は会計監査が行なわれるので、両者の効率的な実施のために監事と公認会計士との連携及び監査スケジュールを組んでいる。	学園、監事、公認会計士との財務上の指導を受けるために、ミーティングを設けている。また学園の内部監査を実施しており、運営・経理ともに問題点はみられない。	4.0	4.0	・財務上の指導があった際はオープンに情報が知れるとなお良いです。
	8-31 財務情報の公開 8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法改正に伴い、専修学校にも財務情報の公開が義務付けされたが、その改正を取り入れ、財務情報公開の体制を整えた。当初は閲覧の対応であったが、現在はホームページにも公開し、毎年欠かさず更新している。	法人のホームページにて資金収支、消費収支、貸借対照表、財産目録及び事業報告書について閲覧可能としている。	4.0	4.0	・HPでの確認できる体制は非常にありがたいです。
9 法令等の 遵守	9-32 関係法令、設置基準等の遵守 9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	本校は厚生労働省管轄の国家資格系学科を含む医療専門課程の学科が設置されており、手続きや報告等は所轄官庁の指導に基づき適切に行われている。また、内部監査も定期的に実施している。	法令遵守や各種規定の整備、相談窓口の設置などは法人全体として取り組んでいる。	4.0	4.0	・厚生労働省管轄の国家試験系学科などがあるため、より法令等を遵守され、適正な学校運営を行っていると思います。 ・生徒に対するコンプライアンス遵守の重要性やSNSの使い方などの啓蒙は行われているでしょうか？ ・情報教育、研究倫理の対応、充実を期待したい。 ・国家試験がる学科も多くあり、慎重に継続して下さい。
	9-33 個人情報保護 9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護に関しては教職員が正しい認識をもち、運用することが重要であることから、一時的な研修で終わらないよう、毎年更新研修を義務付け個人情報保護のルール的重要性を共有している。また、個人情報保護規定に則り、個人情報の取得から管理まで徹底して行っている。あわせて、学生指導時にも個人情報の重要性を発信している。	本校の職員は入職後、CPAの個人情報保護の資格取得を義務付けている。取得している職員には毎年の更新を義務付けている。また、本校では毎年6月にかけて各校舎に保管されている個人情報の状況確認を行い、個人情報保護台帳を修正作成している。	4.0	4.0	・学生への周知のほか、教職員は個人情報取扱従事者口の認定を受けられており、定期的な情報更新もなされていて対策はちゃんとされていると思います。 ・適正な対応がなされている。 ・SNSが発達する速度が非常に速いので、職員の教育をお願いします。
	9-34 学校評価 9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか 9-34-2 自己評価結果を公表しているか 9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか 9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	本校では平成23年度より毎年自己評価報告書を作成している。作成にあたっては全教職員がそれぞれの業務に応じて参画しており、業務の振り返りを行うことで学校運営の改善に役立っている。また、学校関係者評価委員にも開示しご意見をいただき改善している。自己評価報告書は学校関係者評価とともに学校ホームページで公開されている。	平成25年度より学校関係者評価委員会を設置し、毎年、在校生保護者、卒業生、地域代表、業界代表などの委員による学校関係者評価を実施している。その結果についてはホームページにて公開している。毎年度開催している学校関係者評価委員とのディスカッションにより、学内の改善点を抽出し学校運営の改善につなげている。	4.0	4.0	・学校の自己評価、学校関係者による評価を実施して、振り返り、改善点を見つけ、よりよくするための学校の努力が素晴らしいと思う。 ・自己評価報告書、学校関係者評価ともホームページで公開され、適正に行われていると思います。 ・毎年、総括と課題を明確にし対応がなされている。 ・MEの専攻科が少し気になりますが、前向きに改善してもらいたいです。(単年度の資格取得がまだつたわっていない所も)
	9-35 教育情報の公開 9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校の概要や各学科の教育内容、シラバス等については、学校ホームページにて公開している。教育指導体制や教育システムの情報とその成果である退学率や国家試験の合格率などの情報についてもすべて学校ホームページにおいて公表している。	情報公開はホームページを中心に行われており、職業実践専門課程の認定、専門職質保証機構の第三者評価、修学支援制度の対象校の認可も受けている。また、公開情報の更新も定期的に行われている。	4.0	3.9	・各学科や退学率、国家試験合格率などの情報もホームページにて好評されていて、積極的に行っていると思います。 ・積極的かつ適正に対応されている。 ・シラバスが公開されており、新たな教員を目指す人にもつながり、非常に良い。
10 社会貢献	10-36 社会貢献・地域貢献 10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	例年実施してきた、社会貢献・地域貢献・国際交流は、コロナ禍を経て少しずつであるが復活してきている。オンラインの活用が進んだことにより、地域的な限界を考慮せず新たな取り組みを検討することが可能となっている。	臨床工学フォーラムを中心にアジア諸国との連携の強化は進んでいる。地域連携等も従前の形に戻ってきている。	3.5	3.6	・専門学校で社会貢献・地域貢献・国際交流と様々な取り組みをされていることが、めずらしく、素晴らしいと思う。 ・教室、実習室などの利用開放をはじめ海外の学校との提携、淀川区との提携など、幅広く社会貢献、地域貢献されていますので、もう少し評価が高くて良いと思います。英語教育の必要性を感じております。 ・オープンキャンパスにおいても、最低限の英語は必要だと言って下さるとありがたいです。 ・コロナ禍も落ちついてきたので、地元イベントなどで例えば生徒による高齢者の体操や、応急措置、マッサージなどを行うことをしていけば、好感度、理解度、知名度UPIになると思う。 ・介護施設や福祉施設で、高齢者や障害がある方に対するボランティアを行うことにより、コミュニケーション能力向上がはかれるため将来の役に立つと思います。 ・地域貢献にももっと目を向けていただきたいです。 ・地域や自治体、高校などと連携が続けられている。 ・臨床工学フォーラムにおいても、職能団体・卒業生との連携が重要と考えます。 ・中国からの学生の受け入れもすばらしく、他のアジア地域にも広げて欲しいです。
	10-37 ボランティア活動 10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	コロナ禍を経て、様々な活動が少しずつ状態に戻りつつある。	地域貢献ボランティア、献血活動、募金活動を推奨している。ボランティア活動は人間教育・社会性醸成の一環ととらえ、推奨している。	3.0	3.6	・地域貢献推進されているのがすごいなと思いますし、ずっと継続してほしいです。 ・ボランティア活動を通してアクティブラーニングだけではなく、地域貢献もされていますので、もう少し評価が高くて良いと思います。 ・3年間はあっという間ですが、行事予定に入れられては如何でしょうか。 ・職能団体との連携も重要と考えます。今後に期待します。

大項目	点検・評価項目	点検表項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)	自己評価	学校関係者 評価委員会 評価	学校関係者評価委員会からのご意見
1 1 国際 交流	11 国際交流に取り組んでいるか	-	-	-	-	・建学の理念であるため充実を期待したい。

2. 学校関係者評価委員会からのその他のご意見

・今回参加させて頂き、災害医療の事等、知らなかった事も学ばせて頂き、良かったです。どなたかもおっしゃっていましたように、授業でも取り入れ、子供達にも学んでほしいと思いました。

・素人考えで申し訳ございません。もしかしたら、すでにされていらっしゃるかもしれませんが、全体的外れな考えかもしれませんが…スポーツ科学、バイオ再生化学、臨床工学が3本柱と伺いましたが、学科と学科がコラボするようなことが可能であれば、大阪ハイテクノロジー専門学校さん独自のより強みを活かすことにつながらないかなと思いました。(スポーツ科学×AI、バイオ×AIなど)またお話に出ている災害医療にもハイテクノロジーの活用は今後さらに重要になってくると思います。

・国家資格などの資格を取ることが就職に有利だとは思いますが、時間をさくことは難しいかもしれませんが、例えば掛け合わせることで資格が取りやすくなるとか、就職の選択肢が広がるなど、就職につながるものになれば、学校を選ばれる時の決め手になったり、選びやすかったりするのではないかと思います。

・学力に幅があると思われませんが、ご指導の程、よろしくごお願い申し上げます。

・新入社員を毎年とりますが(新卒ではなく中途採用が多いですが)、いつも思うのは特に若い人は漢字が書けない、文章が書けない人が多いです。考えを短時間でまとめて発表したりといった訓練もカリキュラムに入れてはどうでしょうか？グループ討論とか。

・専門学校の取り組み、成果・課題など知ることで勉強させてもらっている。手厚い教育と支援、学びの成果(国試と就職)の充実、専門学校の良さをPRする方法の検討を期待したい。